

岩田卓也^{尺八}
織原良次^{fretless bass}
渡辺庸介^{percussion}

2022 12月14日 (水)

開場 19:30

開演 20:00

(2ステージ入替無) (1drink=600)

MC=3700+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



織原良次

フレットレスベース奏者。1980年生まれ。埼玉県入間郡三芳町出身。埼玉県立所沢高校卒業、東洋大学英米文学科中途退学。高校時代からベースを始め東洋大学軽音ジャズサーニーに所属、演奏活動を開始する。2000年からフレットレスベースに専念。世界的にも数少ない専門フレットレスベース奏者として活動。2010年からBGA (BackGroundAmbient)『透明な家具』を主催。ライブではない / 盛り上がらない / BGMではない、というコンセプトのパフォーマンスを全国で展開中。全国でのベースソロライブツアーも恒例としている。世界的なジャコ・パストリアス研究家としても認知されている。ベース・マガジン2016年5月号(リッター・ミュージック)から「ジャコから学ぶ、ベースを弾くための基礎知識(全12回)」の連載。自身のバンドとしてmiD/市野元彦(gt)滝野聡(gt)本田珠也(ds)。佐山雅弘ニュートリオB'Ridge音楽監督。2018年からダンサー荒悠平との銭湯でのパフォーマンス'floor girl'開始。西村知恵(vo)とのユニットVirtual Silence音楽監督兼アートディレクター。2021年音楽制作母体「織原鉄工音楽事業部」発足予定。織原鉄工は実父の経営する鉄工所の名前から。
<https://www.oriharatekkoh.com/>

岩田卓也

岩田卓也
1980年6月8日生まれ。愛知県常滑市出身。12歳より尺八をはじめ。東京藝術大学中退。在学中人間国宝の山本邦山師に師事。2002年NHK邦楽オーディション合格。2004年、長谷検校記念全国邦楽コンクールにて最年少で最優秀賞と文部科学大臣奨励賞を受賞。地元・常滑市より表彰される。2009年第6回東京邦楽コンクール、優勝。2012年国際尺八コンクール優勝。世界一のタイトルを獲得。その後今までの尺八をすべて泉州尺八工房のオリジナルタイプAに変更。穴の数も5孔から6孔へ。コシノジュンコヤクリスチャン・ディオールのショーで演奏。2010年から2016年坂本冬美ステージメンバー。テレビ出演は「紅白歌合戦」「芸能華舞台」(NHK)など。海外公演20カ国以上。アメリカ、ニューヨークでの世界芸術見本市に日本代表として参加。シビウ国際舞台芸術祭スペシャルサンクス特別招待公演参加。2010年にはNHK日本賞授賞式にて皇太子殿下の前で演奏を務めた。2016年より作曲にも取り組む。自身のリーダーユニット、岩田卓也@MAKI、残歌(岩田卓也、伊藤志宏、ファルコン)型にはまらない独特な演奏と気持ちを揺さぶる感情表現、リズム感を武器に尺八の新たな可能性を切り開いている。

渡辺庸介

1986年7月1日生まれ、京都府綾部市出身。タンバリンを軸に、あらゆる打楽器からボイスパーカッションまで様々な音色を駆使した、ジャンルにとらわれない柔軟かつ大胆なプレイが持ち味。幼い頃から和太鼓に親しむ。2005年、大学時代に北欧音楽バンド『Drakskip』を結成し、パーカッションと出会う。卒業後ほとんどしてプロミュージシャンとしてのキャリアをスタート。全国で演奏を行う。2015年に拠点を東京に移してからはジャンルの壁を超えて活動の幅を広げ、様々なミュージシャンと共演。新たなバンドにも数多く関わり、現在では年間約200本のライブを行う。これまで国内のみならず、アメリカ、フランス、スペイン、ブラジル、メキシコ、スウェーデン、フィンランドなど、様々な国と地域で演奏。土着的な民族音楽から歌モノポップスまで、ジャンルを問わず幅広い活動を続けている。